

令和5年度 文化に関する市民意識調査 報告書 こども世代に対する文化に関するアンケート調査 報告書 【概要版】



伊丹市マスコット たみまる

令和5（2023）年12月

伊丹市

都市活力部 まち資源室 文化振興課

調査の概要

○ 調査の目的

- ・今後の文化振興の方向性を定める「（仮称）伊丹市文化振興ビジョン」を策定するにあたり、市民の皆さまの文化に関する意識と、こども世代の文化への関わりの状況を基礎資料として活用することを目的に実施しました。

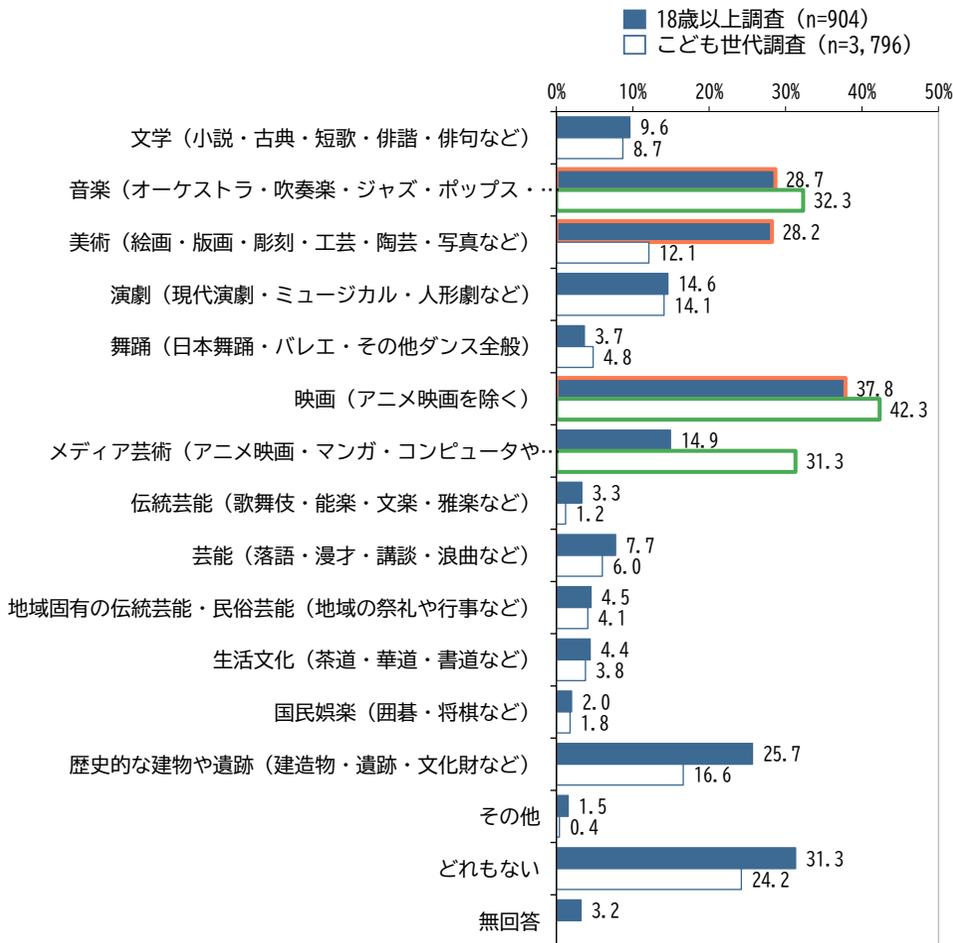
○ 調査の設計

	文化に関する市民意識調査	こども世代に対する文化に関するアンケート調査
調査対象者	伊丹市内在住の満18歳以上の市民4,000人を無作為抽出	<ul style="list-style-type: none">・令和5（2023）年度の市内中学校在校生5,233人（5月1日現在）のうち約1,080人を抽出（全139クラスのうち27クラスを抽出。1クラス40人と想定）・令和5（2023）年度の市内高等学校在校生3,681人（全生徒）
調査期間	令和5（2023）年7月18日～令和5（2023）年8月20日	令和5（2023）年6月5日～令和5（2023）年7月20日頃（各校終業式実施日まで）
調査方法	調査依頼状（はがき）を送付し、回答はWEB方式（紙での回答希望者には別途調査票を郵送配布（郵送方式））	伊丹市スマート申請システムによるWEBアンケートを実施。タブレット端末やスマートフォンを活用し、二次元コード又はURLから回答フォームへアクセスし、回答。
回答状況	904件 （うちWEBによる回答820件、紙での回答84件）	中学校 840件 高等学校 2,956件
有効回答率	22.6%	中学校 77.8% 高等学校 80.3%

この1年間に直接鑑賞した・今後鑑賞したいと思う文化芸術の分野

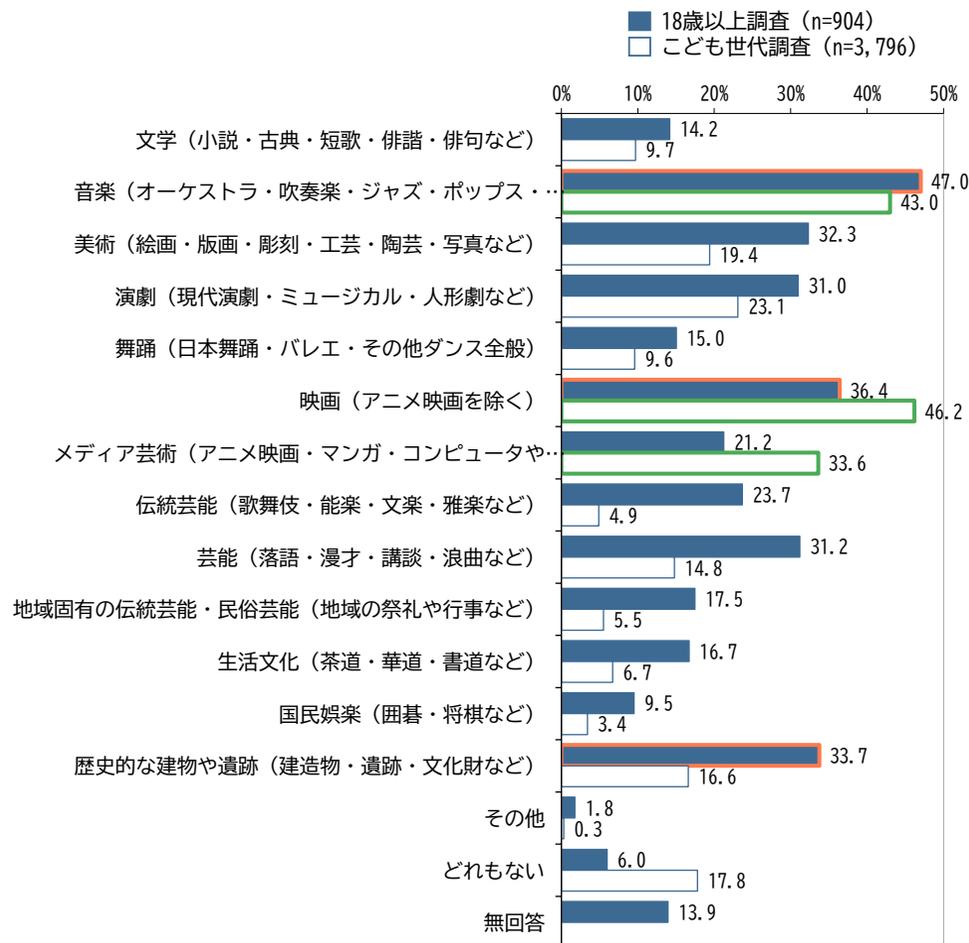
この1年間に直接鑑賞したことの文化芸術の分野

18歳以上では「映画」「音楽」「美術」
 こども世代では「映画」「音楽」「メディア芸術」



今後鑑賞したいと思う文化芸術の分野

18歳以上では「音楽」「映画」「歴史的な建物や遺跡」
 こども世代では「映画」「音楽」「メディア芸術」

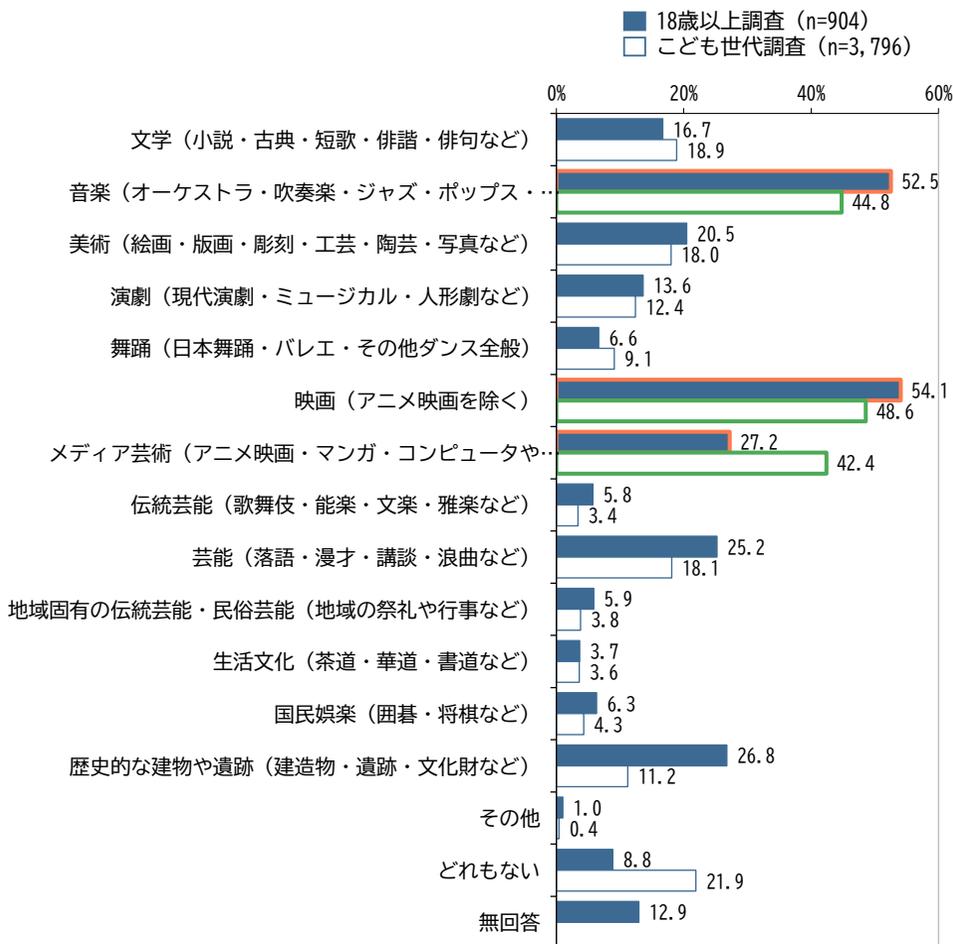


「文化に関する市民意識調査」を「18歳以上調査」、「こども世代に対する文化に関するアンケート調査」を「こども世代調査」と表記しています。以下同じ。

この1年間にデジタル機器等で鑑賞した・今後鑑賞したいと思う文化芸術の分野

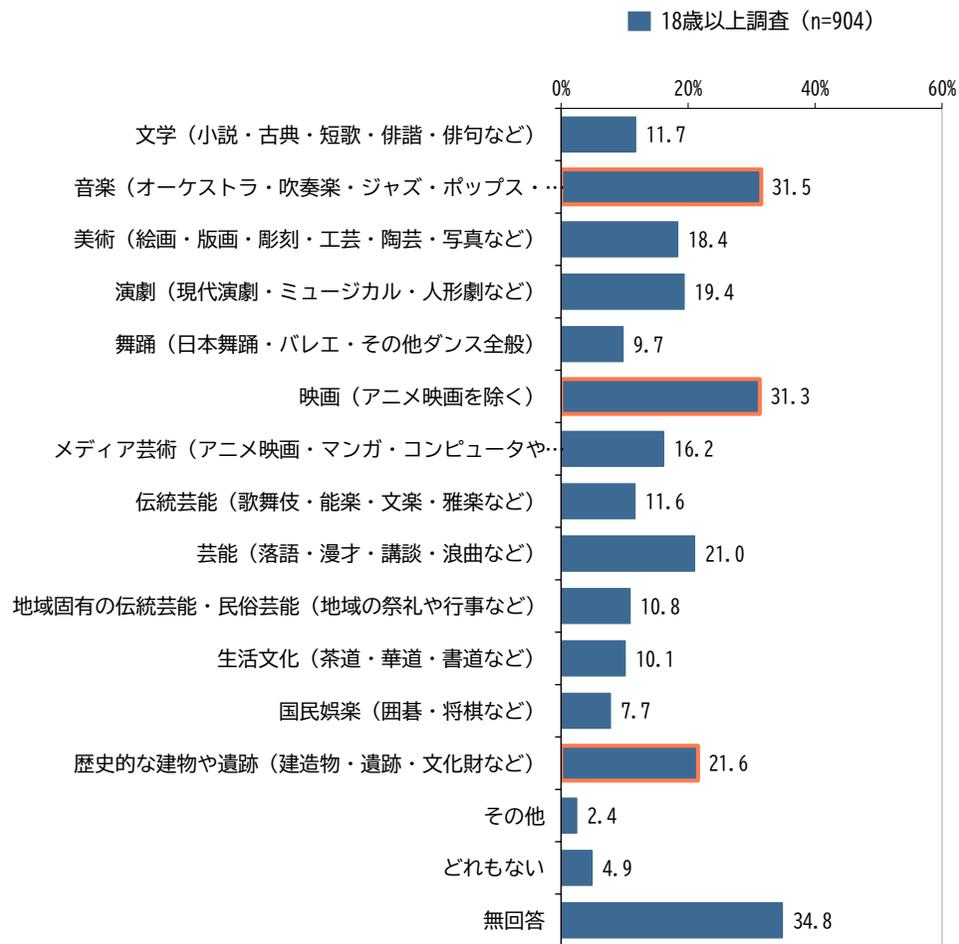
この1年間にデジタル機器等で鑑賞したことのある文化芸術の分野

18歳以上では「映画」「音楽」「メディア芸術」
 こども世代でも「映画」「音楽」「メディア芸術」



デジタル機器等で今後鑑賞したいと思う文化芸術の分野 (18歳以上調査のみ)

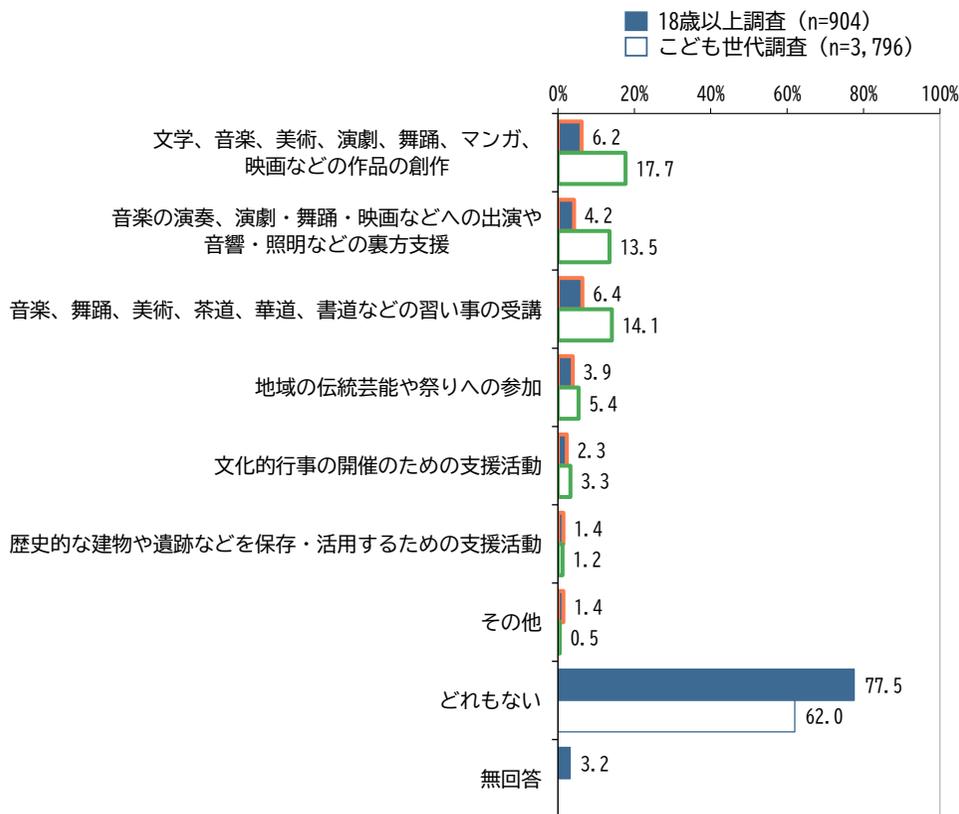
18歳以上では「音楽」「映画」「歴史的な建物や遺跡」



この1年間に行った・今後したいと思う文化芸術の活動

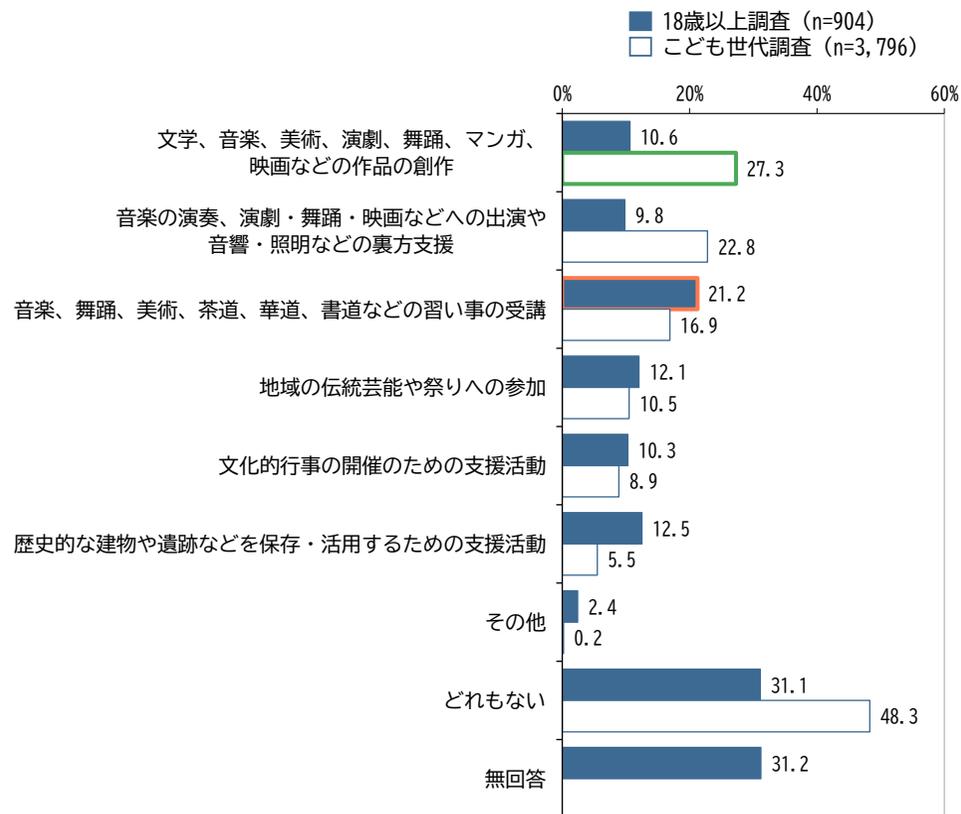
この1年間に行った文化芸術の活動

この1年間に
何らかの文化芸術の活動を行った人の割合は、
18歳以上では約2割、こども世代では約4割。



今後したいと思う文化芸術の活動

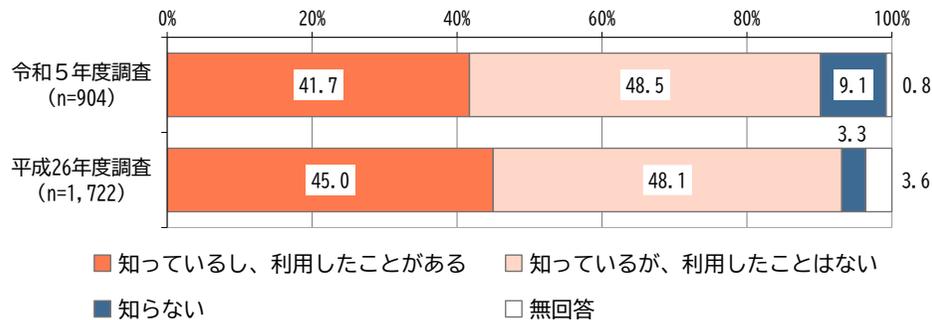
18歳以上調査では「音楽、舞踊、美術、茶道、華道、書道などの習い事の受講」
こども世代調査では「文学、音楽、美術、演劇、舞踊、マンガ、映画などの作品の創作」



市内文化施設の認知度【18歳以上調査】

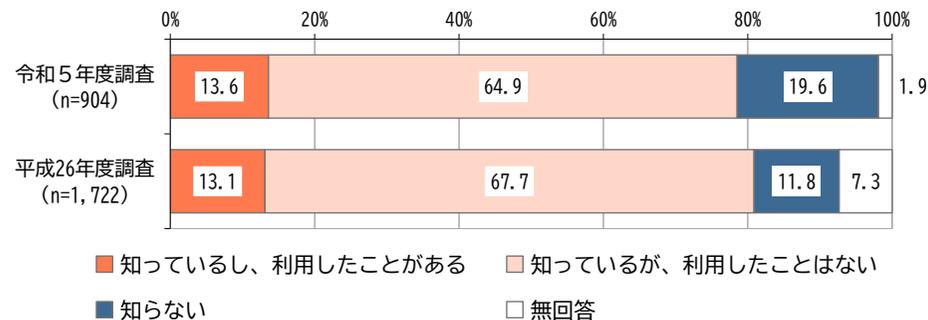
文化会館（東りいたみホール）

「利用経験あり」 (41.7%) 「知っている」 (90.2%)
「知らない」 (9.1%)



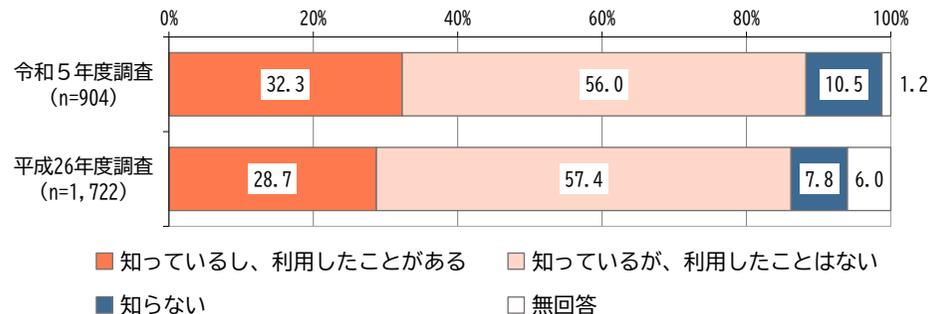
演劇ホール（アイホール）

「利用経験あり」 (13.6%) 「知っている」 (78.5%)
「知らない」 (19.6%)



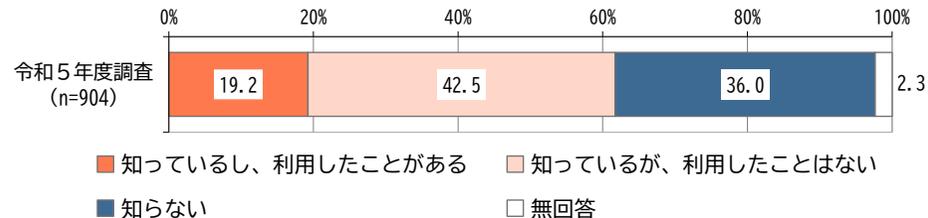
音楽ホール（伊丹アイフォニックホール）

「利用経験あり」 (32.3%) 「知っている」 (88.3%)
「知らない」 (10.5%)



伊丹ミュージアム（アイム）

「利用経験あり」 (19.2%) 「知っている」 (61.7%)
「知らない」 (36.0%)



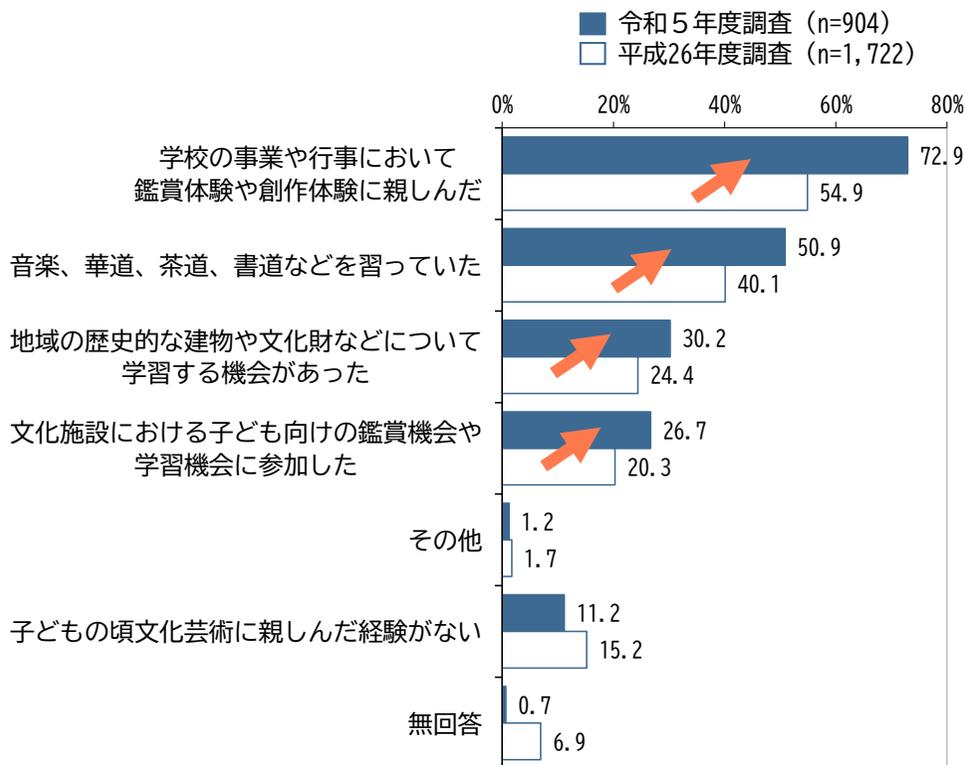
伊丹ミュージアム（アイム）は、令和4（2022）年4月に開館したため、平成26（2014）年度調査には設問がなく、比較していない。

「知っている」は「知っているし、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」の合計

子どもの文化芸術体験について【18歳以上調査】

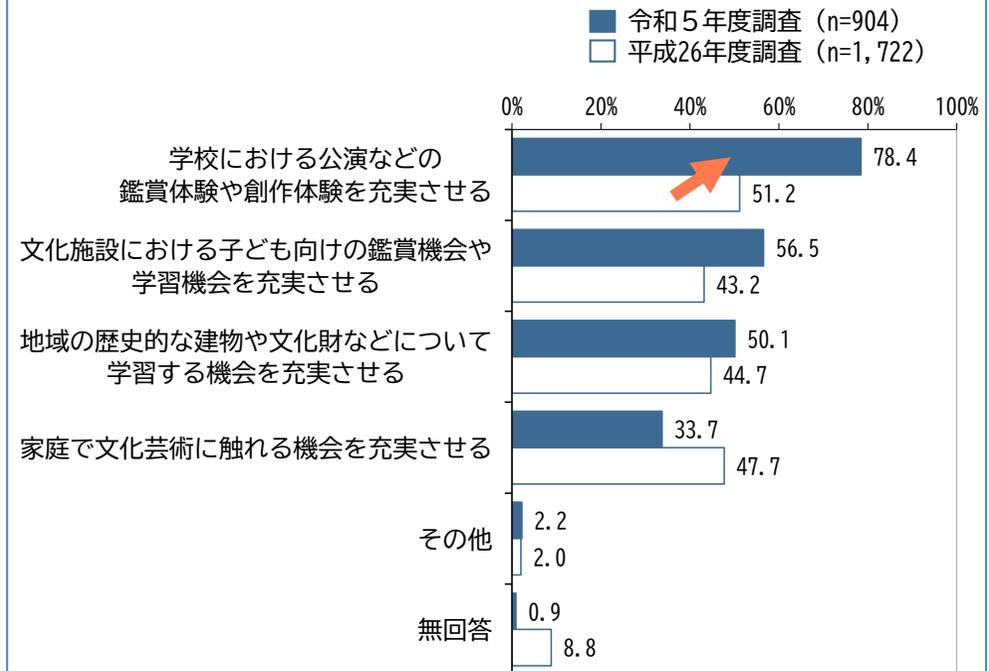
子ども時代の文化芸術の経験

子ども時代の多様な文化芸術の経験がある人が
9年前と比較して**増加している**。



子どもの文化芸術体験で重要だと思うこと

「学校における公演などの鑑賞体験や創作体験を
充実させる」が78.4%で
9年前と比較して**大幅に増加している**。

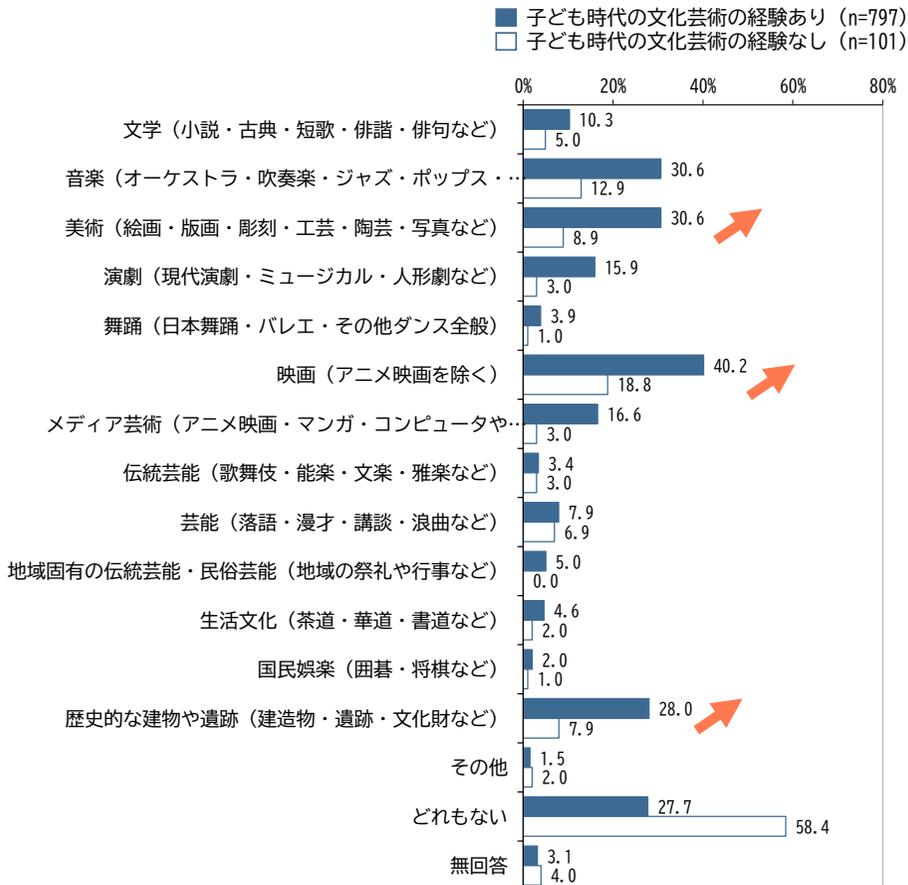


子ども時代の文化芸術の経験の有無による追加分析【18歳以上調査】

・本分析においては、子ども時代に文化芸術の経験がある方と、子ども時代に文化芸術の経験がない方に分けて分析しています。

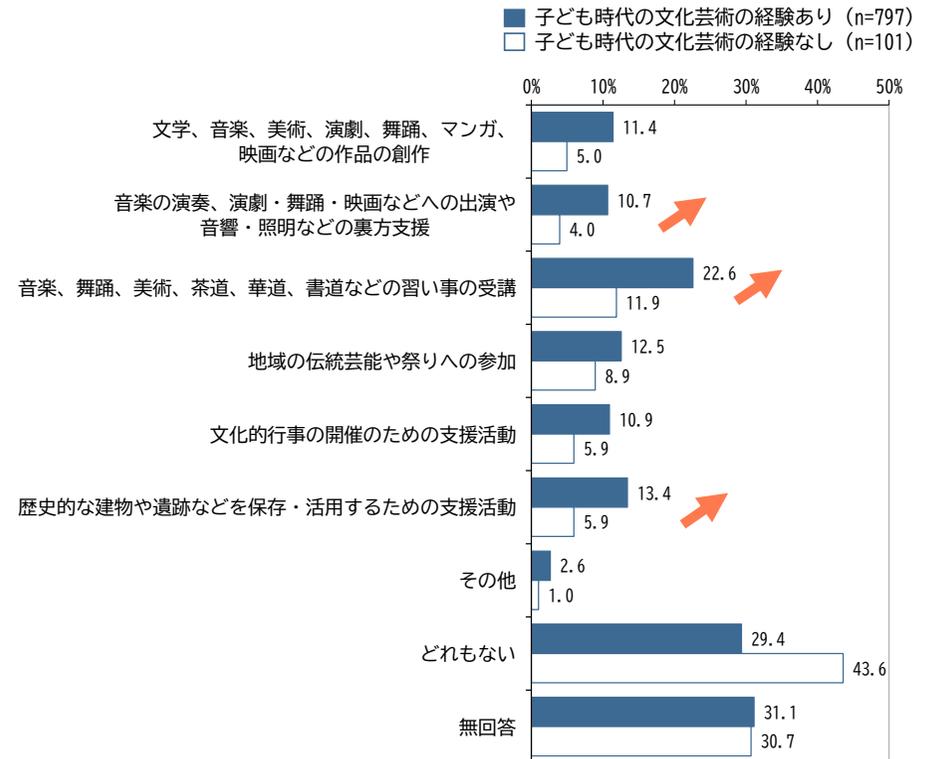
子ども時代の文化芸術の経験の有無× この1年間に直接鑑賞したことがある文化芸術の分野

「子ども時代の文化芸術の経験あり」では、「子ども時代の文化芸術の経験なし」に比べて、この1年間に直接鑑賞したことがある文化芸術の分野の回答割合が高い傾向にある。



子ども時代の文化芸術の経験の有無× 今後したいと思う文化芸術の活動

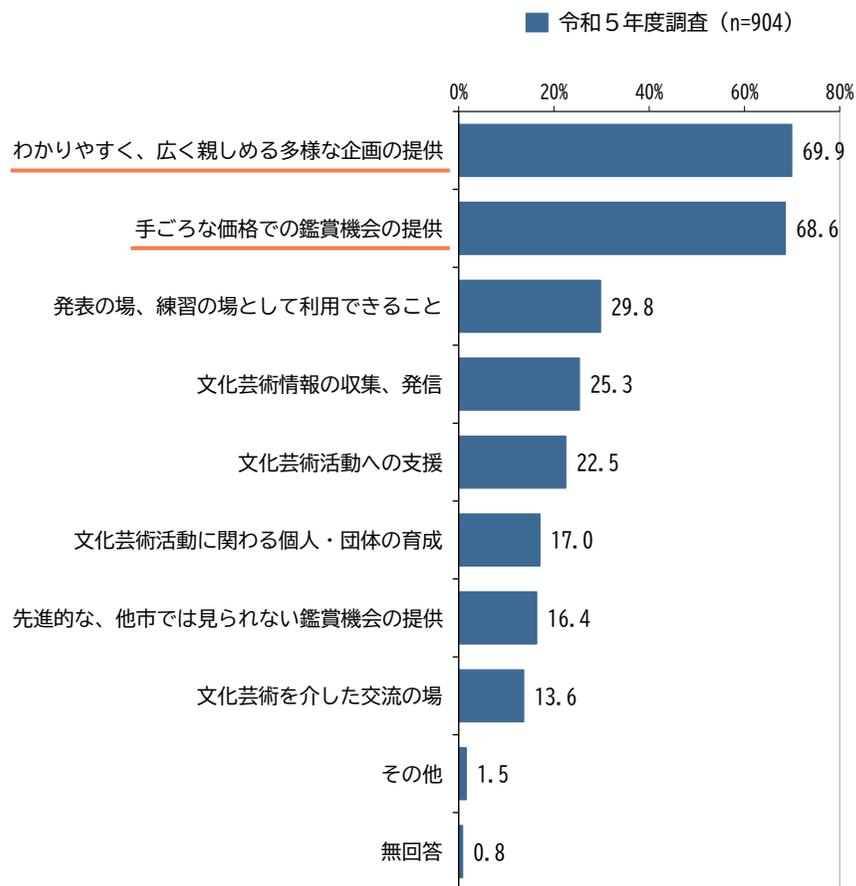
「子ども時代の文化芸術の経験あり」では、「子ども時代の文化芸術の経験なし」に比べて、今後したいと思う文化芸術の活動の回答割合が高い傾向にある。



重要だと思う市の文化施設が提供するサービス・文化を振興していくために特に力を入れてほしいこと 【18歳以上調査】

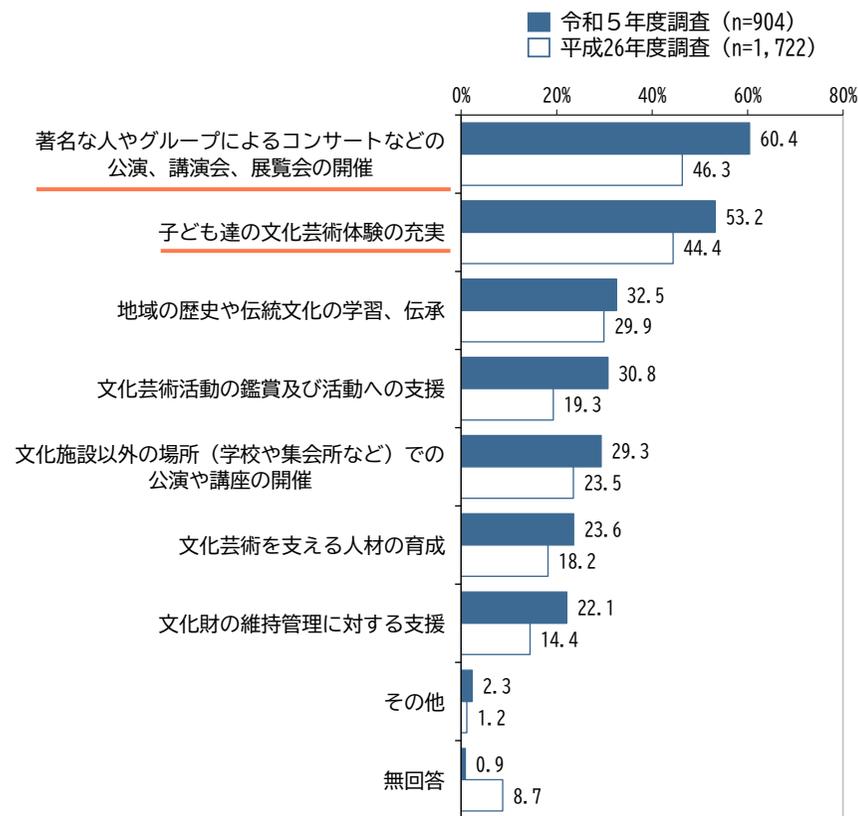
重要だと思う市の文化施設が提供するサービス

「わかりやすく、広く親しめる多様な企画の提供」
「手ごろな価格での鑑賞機会の提供」
の割合が高くなっている。



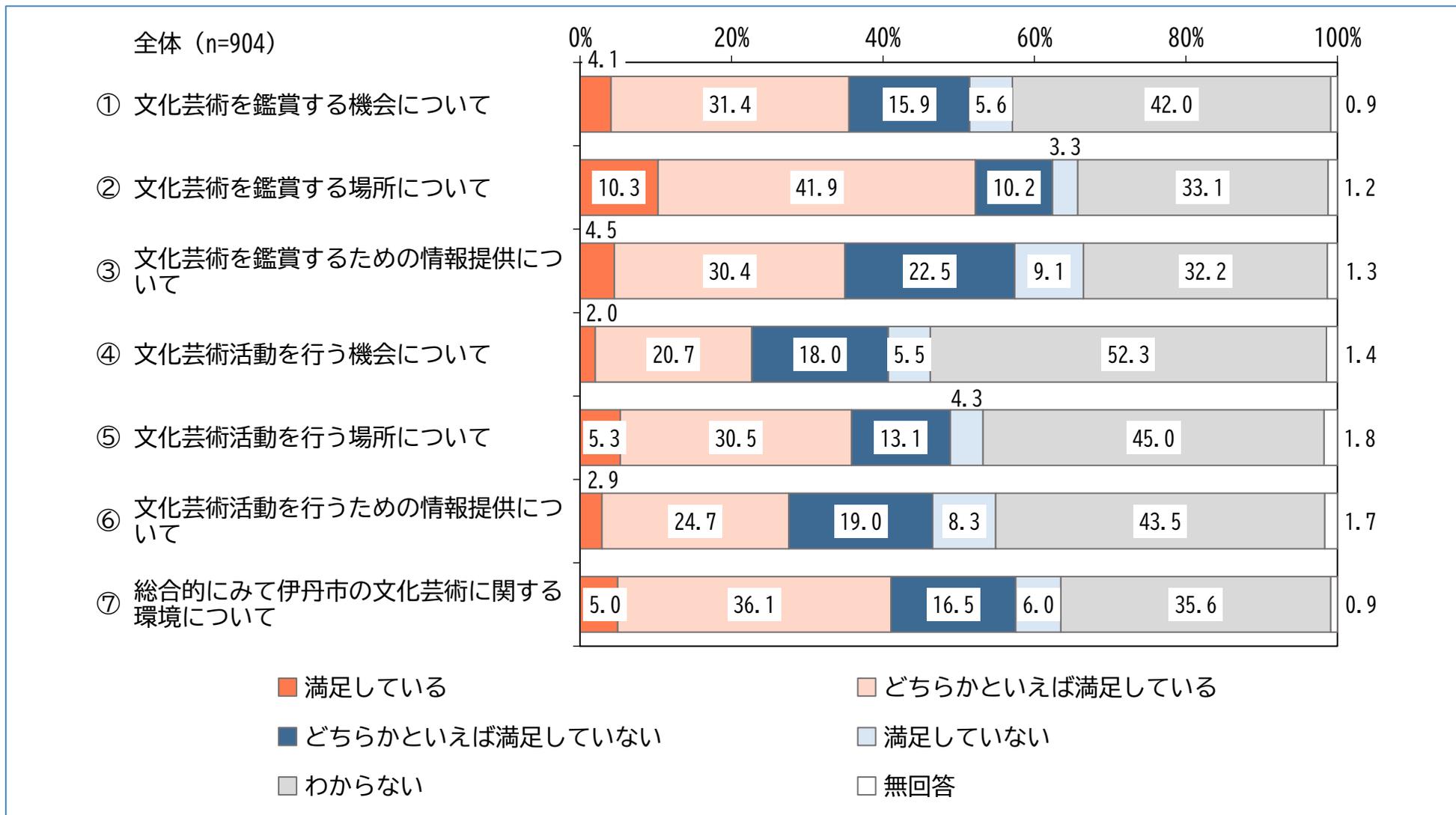
文化を振興していくために特に力を入れてほしいこと

「著名な人やグループによるコンサートなどの公演、
講演会、展覧会の開催」
「子ども達の文化芸術体験の充実」
の割合が高くなっている。



文化芸術に関する「環境」についての評価【18歳以上調査】

満足度は、「文化芸術を鑑賞する場所について」（52.2%）が最も高い。



満足度は「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

○ ポートフォリオ分析

ポートフォリオ分析とは、満足度を縦軸、重要度を横軸にとり、各項目の分布状況を示した散布図を4つの領域に分類したもの

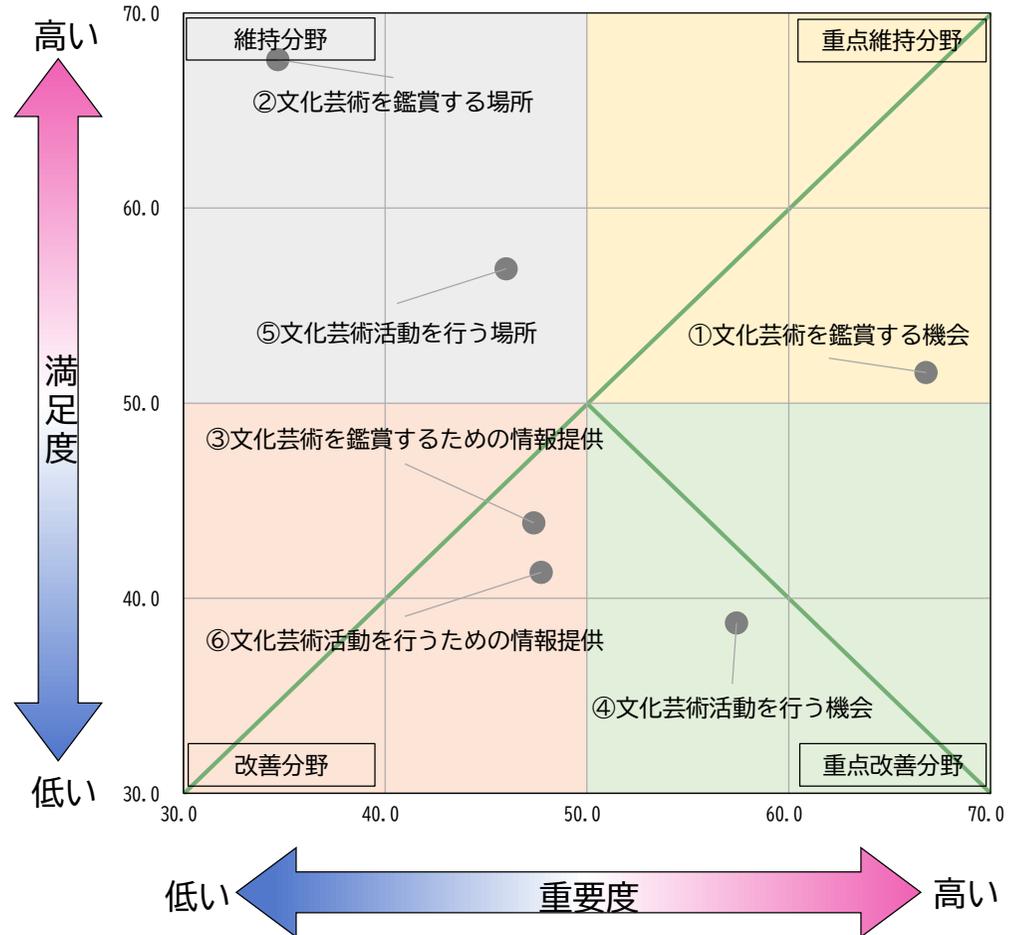
(満足度については、「わからない」と無回答を除いて、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合、重要度は、総合満足度と個別満足度の相関係数を採用。)

- 重点維持分野**：満足度が高く重要度が高い
⇒ 継続して充実させる必要がある項目
- 維持分野**：満足度が高く重要度が低い
⇒ 維持していく必要がある項目
- 改善分野**：満足度が低く重要度が低い
⇒ 満足度を高めていく必要がある
またはあり方について検討が必要な項目
- 重点改善分野**：満足度が低く重要度が高い
⇒ **優先して改善が求められる項目**

満足度と重要度の偏差値を散布図（右図）に落とし、重点改善分野にある項目を選定する

■ 重点改善分野の項目

「文化芸術活動を行う機会」



令和5年度 文化に関する市民意識調査 報告書
こども世代に対する文化に関するアンケート調査 報告書

【概要版】

令和5（2023）年12月
伊丹市 都市活力部 まち資源室 文化振興課